

中頭指導行政の基本方針
重点目標

最多・最大の最高を追求する中頭教育の創造
～地域に根ざし、共に子供の育ちを保障する魅力ある学校づくり～

育成をめざす資質・能力
○実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」の習得
○未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成
○学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養

国・県の施策

重点事項「わったーわらび」の学力保障と成長保障

令和4年度の状況

- 学習指導要領(平成29年)
- 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)(平成31年)
- 新沖縄県21世紀ビジョン基本計画
- 沖縄県教育振興基本計画
- 学校教育における指導の努力点
- 沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ
- 「問い」が生まれる授業サポートガイド
- 学校改善ツール・授業改善ツール
- 沖縄県学力向上推進本部会議からの提言/重点1、重点2

長期目標：持続可能な社会の創り手となる幼児児童生徒の育成
総括目標：幼児児童生徒一人一人に「生きる力」の基盤となる新しい時代をつくるために必要とされる資質・能力を育む。

全国学力・学習状況調査結果
【小学校】()は昨年度の数値、理科はH30
国語61.4p(64.0)；県差-1.6p；全国差-4.2p
算数58.9p(68.0)；県差-0.1p；全国差-4.3p
理科60.4p(60.1)；県差-0.6p；全国差-2.9p
【中学校】()は昨年度の数値、理科はH30
国語63.5p(58.4)；県差-0.5p；全国差-5.5p
数学40.6p(51.6)；県差-1.4p；全国差-10.8p
理科43.2p(59.5)；県差-0.8p；全国差-6.5p

家庭の取組
○規則正しい生活リズムの確立
○スマホ等の利用ルールづくり
○学習習慣の確立
○ファミリー読書の推進

- 基本方針
- 1 一単位時間の授業改善から単元を見通した授業改善へ
 - 2 学んだことの意義や価値観を実感できるような肯定的な見取りや関わりへ
 - 3 生徒指導の4つのポイントを生かした授業の実践(自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成)
 - 4 「教える」の視点から子供の「学び・育ち」の視点へ
 - 5 成果目標の評価から診断・学校診断的(学校アセスメント)評価へ

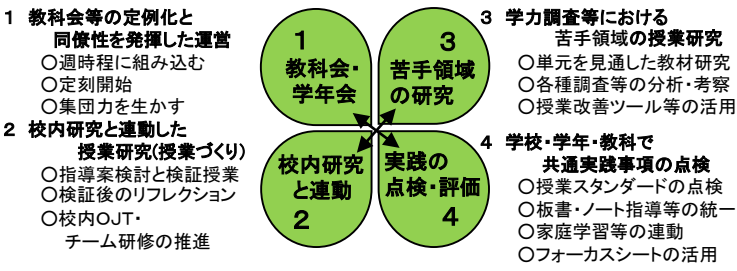
県学びの確かめ
6月実施(県平均超え学校数)
【小学校】67校(6月)
4年国語(33) 算数(27)
5年国語(36) 算数(34)
【中学校】32校(6月)
中1年国語(15) 数学(12)
中2年国語(11) 数学(12) 英語(14)

- 取組事項
- 1 育成すべき「資質・能力」の明確化と学校教育目標との関連
 - 2 育成すべき資質・能力を踏まえた教育課程の編成・実施・評価・改善
 - 3 主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業改善(指導方法等の確立)
 - 4 自主的、自発的な学習の促進(自立心・自律性の育成)
 - 5 児童生徒の発達を踏まえた支援(子供一人一人の発達の支援)
 - 6 豊かな心の育成(「特別の教科 道徳」)
 - 7 健やかな体の育成(一校一運動、食べて動いてよく寝よう)

地域の取組
○青少年健全育成の日奨励
○放課後子ども教室推進事業
○地域学校協働活動推進事業
○CGG運動
○体験学習等への連携・協力

学校の取組
子供の「学びの姿」を創出する授業デザインの推進!!

○教師の「3つの視座」に基づく教育の推進
第1視座
組織的な聞くことのしつけ
第2視座
主体的な学びづくり
子供のエネルギーを活用した活動づくり
第3視座
子供の自分の信頼を高める
「勇気づけ」



○学校の活性化に効果の期待できる取組
1 校長講話(めざす姿の共有)
2 指導案作成と授業実践
3 授業を補完する取組
4 五者会等へ学校事務職員が参加
5 学校評価の分析・活用
6 校長による授業参観と助言
7 評価システム面談にてめざす姿等の確認
8 校内教育支援委員会の充実

「学びの質」を高める「子供視点」の授業改善

	視点1 自己肯定感の高まり	視点2 学び・育ちの実感	視点3 組織的な関わり	改善ツール等
方策1 日常化する【質的授業改善】	○個人内評価の積極的フィードバック ○単元を見直し、資質・能力を育む授業改善・校内研究 ○生徒指導の4つのポイントを生かした授業	○よさや進捗状況の積極的評価		□授業における基本事項 □単元・授業プランシート
方策2 そろえる【組織的共通実践】	○調査分析に基づく児童・生徒の実感認識を共有	○評価の視点・観点をそろえる	○ガイダンスとカウンセリング機能の充実	□授業スタンダード等 □アセスメント調査等
方策3 支える【発達の支援】	○確かな児童生徒理解 ○学びに向かう集団づくり	○学級活動の充実	○ICT、タブレット端末の有効的な活用	□不登校支援の手引 □集団指導と個別支援
方策4 見通す【学校組織マネジメント】	○学校課題の解決に向けた組織マネジメント機能(教育の質)を高める。 ○学校評価と関連づけたカリキュラム・マネジメント及び年間サイクルの確立			□学校デザインシート □ルーブリック、フォーカス
方策5 つなぐ【学校連携・地域連携】	○市町村教育委員会による特色を生かした施策推進による学校づくり ○キャリア教育の視点を踏まえた校種間連携 ○学校・家庭・地域の連携(相互に支え合う互恵的関係の構築)			□学校訪問・連絡協議会 □キャリア・バスポート □学校運営協議会制度

学び合う教職員の資質・能力向上

チーム学校づくりの推進

学校デザインシート → 学力向上推進ルーブリック → 学力向上推進フォーカスシート

- ①各学校は学力向上に関する基本方針を明確にした「学校デザインシート」を作成し、全教職員で共通理解する。
- ②各学校は学力向上に係る取組の状況を「学力向上推進ルーブリック」で俯瞰的に捉え、学校改善や授業改善を段階的に推進する。
- ③各学校の課題に応じて取組を焦点化した「学力向上推進フォーカスシート」でPDCAサイクルを効果的に機能させて、全校体制で着実に推進する。

カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進
— 社会に開かれた教育課程の実現 —

中頭地区学力向上推進委員会【共通課題・共通実践事項】

しっかり教える

モデリング(教えて)「価値」「形」
コーチング(考え、指向させ)「強化」「修正」
フィードバック(価値付ける)「勇気づける」

じっくり考え、させてみる

主体的な学びづくり 子供が学び合う授業づくり
「主体的・対話的で深い学び」
学習規律づくり よりよい学校・学級をめざす組織的な活動
(「支持的」風土の醸成)

たっぷり価値つける

子供自身が自分への信頼を高める「勇気づけ」
「学びの成果」
自己肯定感の高まり

① **統一**

発達段階に応じて
学級経営や教科経営の
内容・方法を統一し、
校内で組織的に進める

② **徹底**

評価と指導・支援を繰り返し
定着するまであきらめない

③ **運動**

学校における
すべての指導を運動させ、
一貫した方針による授業を実践する

④ **評価**

取り組みの進捗状況を
定期的に点検・評価し、
課題については新たな改善策を講じる